

義務教育学校・明野地区準備委員会 第5回 PTA 部会議事要旨

■開催日時 令和3年6月3日（木）午後6時30分～8時15分

■開催場所 明野いきがいセンター 研修室

■出席者 筑西市義務教育学校・明野地区準備委員会 PTA 部会委員 15名

【教育委員会】古幡部長、鈴木次長、野口参事兼指導課長、市塚義務教育学校整備推進課長、その他事務局職員（指導課・義務教育学校整備推進課）

【こども部】こども課（宮川係長、小林主事）

■会議経過（概要）

1. あいさつ【武井部会長】

2. 新規委員の紹介

3. 放課後児童クラブについて

- ・敷地内に公設民営の放課後児童クラブを建設予定である。
- ・法人のみならず保護者会により運営されているところがある。

4. 議事

（1）スクールバス運行に関する意見について【長尾主事】

◆準備委員会だよりの QR コード等から寄せられた意見に関する委員の意見

- ・大村・鳥羽地区は、今まで通っていた小学校を超えて向かっていくということに抵抗を感じているのではないかと聞いた。以前、桃山学園に視察に行った際に、雨の日の交通渋滞が生じていると聞いた。明野中周辺は狭い道路もあるため、交通渋滞の問題は生じてくると思う。
- ・昨今の通学上の安全面を考慮すると、距離に関係なく、全員をバスの対象とし、その上で歩きたい児童だけ歩いてもらえば良いのではないかと。防犯灯や歩道などが比較的整備されている環境に住んでいる児童は歩くのではないかと。
- ・通学路の安全性について、交通面から考えた時に、安全な道を通ろうとすると、どうしても回り道になってしまい、距離が遠くなって低学年には負担である。安全に歩くことができる環境を整備できれば、通学上の心配は軽減できると思うのだが、市としての対応は可能か？また、自分でも実際に歩いてみたいと思う。

- ・自分の自宅は中根にあるが、中根から明中まで大人の足で 30 分程度かかるため、低学年は心配である。大通りは、歩道も整備されているが、ちょっと中に入ると、整備されていない道路状況であるため、整備も必要になってくるのではないか。
- ・3 kmから 2 kmにした場合、経費がどれくらい増額するのか。また、一世帯あたりの負担額はどれくらいか試算した方がよい。一月の金額によって、頑張って歩かせるか、逆にお金を払ってでも乗せたいという人もいると思う。
- ・小学生と中学生の通学時間が同じだと、徒歩と自転車の動線が重なってしまうことが心配だ。
- ・バスの対象範囲については、経費等の問題を考えると非常に難しい問題と思う。全員乗せるのはできないだろうが、低学年の遠い子で今よりも出発時間が早くなることを考えると可哀そう。
- ・物騒な事件が多いから、交通安全面よりも防犯面を心配している親が多い印象を受けた。お金がかかってもバスに乗せたいという保護者がいると思う。また、環境が変わることで子供に係る心理的なストレスが気になる。登校のスタイル云々ではなく、毎日学校に行って勉強することが大事だと思うので等しく通学方法を選べることが大事なのでないか。
- ・自分は、東石田に自宅があり、正直なところ、東石田の特に低学年は歩かせたくない。せめて、1・2年生は全員バスにしてほしい。また、他の自治体の送迎問題について知りたい。
- ・通学路が変わることで、横断歩道が無い場所、押しボタンを新たに整備したりなどの対策が必要になってくるのではないか。現状を考えると、保護者送迎はやむを得ない面もあるが、できる限り渋滞を回避できる動線の検討も必要か。予算の問題もあり、どこかでは折り合いをつけなければならないと思うが、学校側としては、できる限り子供たちの通学上の負担を軽減させたい。
- ・通学距離が長くなることで、雨の日や炎天下での通学が心配である。交通事故の心配もある。(親対子供、親対親、親対自転車)
- ・距離の問題については、それぞれの人がそれぞれの立場で発言していると感じた。押尾は、田んぼ道を歩いてくることになるので夏は大変だろうと思う。県道 14 号を横断するので、横断歩道の有無を考えると宮山公園の下の信号機まで歩くなど通学路の検討が必要になるのではないか。
- ・保護者送迎の増加が心配される。現在、中学校だけでも毎日送迎がある中、小学生で遠距離通学の児童の送迎が増えることで、学校付近の交通渋滞が懸念される。
- ・人気のない道を歩くことになる特に低学年の保護者の送迎が多くなるのでは。
- ・七時前に出発しなければならない地域が心配。下校についても学校を出る時は

通学班でまとまって帰っても途中で親が迎えに来たりすると、そこから一人で遠距離を歩いて家まで帰ることを考えると心配である。

⇒本日いただいた意見については、後日改めてフィードバックさせていただきたい。
通学路については今のところ、現在の明野中までの自転車通学路をベースとして想定している。その上で、自転車では通れるが、徒歩には適さない道等もあると思うので、実際に委員の皆様と危険個所の確認も含めて検討していきたい。
また、送迎については、いきがいセンターの利用も含めて検討させていただく。
自転車と徒歩の動線については、実施設計上重ならないよう別の動線になるよう予定している。(事務局)

(2) スクールバスの在り方について【長尾主事】

⇒資料のとおり説明。通学班単位、道のりを基本に白地図上で協議。

◆委員意見

- ・全員をバスに乗せた場合のシュミュレーションをしてほしい。例えば、鳥羽地区なら鳥羽小の他に東保末や谷原など小学校の他に集合場所を設けるなど。紙面上にシュミュレーションすることで、様々な課題が出てくるのではないか。
- ・東押尾と西押尾については、現在長讃小に通っているから通学班が分かれているが、明野中に行くとなると同じ通学班になると思う

(3) 明野五葉学園までの通学路を歩く会について【大木係長】

小学校低学年の通学距離として現在の基準が妥当であるか、また通学路の危険箇所等の確認を行うために、事務局でも実際の通学時間帯に歩いた地域もあるが、準備委員会として各地区の歩く会を実施したい。

⇒PTA 部会委員の予定を確認。決定次第準備委員会全員に通知する。

5. その他

- ・次回の会議予定について【大木係長】

準備委員会を9月～10月に予定しており、詳細については改めて通知する。